



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月2日

上場会社名 株式会社キューブシステム 上場取引所 東
 コード番号 2335 URL <https://www.cubesystem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員社長室長 (氏名) 北垣 浩史 TEL 03-5487-6030
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,892	△2.1	598	△19.9	594	△21.0	388	△22.6
2022年3月期第2四半期	8,060	13.8	746	35.1	752	24.6	501	25.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 548百万円 (△1.1%) 2022年3月期第2四半期 554百万円 (6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	28.73	—
2022年3月期第2四半期	37.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	10,270	7,533	73.4	556.76
2022年3月期	10,064	7,214	71.2	531.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,533百万円 2022年3月期 7,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	8.00	—	15.00	23.00
2023年3月期	—	23.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	27.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 50周年記念配当 12円00銭
 2023年3月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 50周年記念配当 12円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	7.5	1,530	7.9	1,545	7.8	1,000	5.9	73.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、(添付資料) 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,500,000株	2022年3月期	14,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	968,792株	2022年3月期	1,000,392株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	13,518,041株	2022年3月期2Q	13,559,941株

(注) 期末発行済株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式 (2023年3月期2Q 586,100株、2022年3月期 617,700株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております (2023年3月期2Q 599,266株、2022年3月期2Q 400,950株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2022年11月11日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.cubesystem.co.jp/ir/library/results>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、withコロナを前提とした社会経済活動の正常化が進む中、景気は緩やかに回復に向かいました。一方で、急激な円安やウクライナ情勢の長期化等による物価高騰等の下方圧力が顕在化しており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、業種や企業規模を問わず、DX（ビジネス変革・プロセス変革）に対する情報化投資意欲は引き続き底堅く、クラウドを活用したシステムインテグレーションや管理運用受託企業の情報化投資は堅調に推移しております。一方で、経済環境・事業環境の変化が著しい中、事業ポートフォリオの見直しを急速に進める企業もあり、情報化投資への対応や整備も併せた検討を迫られております。

当社グループにおきましては、大規模案件の受託へと繋がる上流工程への参画も出来ていることから、下期以降に備えたリソースの最適化や生産体制の確保に努めております。また、キャリアフィールドに応じた人材育成や経営管理に係る情報化投資等を図り、経営基盤の強化・整備を進めてまいりました。こうした活動を通じて、エンハンスを中心とした継続的な案件は堅調に推移しましたが、SIビジネスの領域では顧客企業の情報化投資政策の大きな変化に伴うリソース等の再配置が追い付かず、売上高・営業利益共に当初計画を下回ることとなりました。その結果、売上高は7,892百万円（前年同期比2.1%減）となりました。また、営業利益は598百万円（同19.9%減）、経常利益は594百万円（同21.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は388百万円（同22.6%減）と推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に、売掛金及び契約資産の減少126百万円、有価証券の増加100百万円によるものです。また、固定資産合計は2,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加253百万円によるものです。

これらの結果、総資産は10,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少いたしました。これは主に、未払金の減少160百万円によるものです。固定負債は708百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円増加いたしました。

これらの結果、負債合計は2,736百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,533百万円となり、前連結会計年度末に比べ319百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加175百万円、その他有価証券評価差額金の増加155百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は73.4%（前連結会計年度末は71.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。しかしながら、円安、ウクライナ情勢の長期化等による物価高騰が進み、経済への悪化懸念が大きい場合には、業績予想を変更する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,058,095	5,046,843
売掛金及び契約資産	2,584,355	2,457,566
有価証券	-	100,000
仕掛品	16,439	23,138
その他	147,277	160,884
貸倒引当金	△667	-
流動資産合計	7,805,500	7,788,432
固定資産		
有形固定資産	169,139	147,841
無形固定資産	4,954	4,142
投資その他の資産		
投資有価証券	1,278,721	1,532,283
退職給付に係る資産	194,324	196,082
その他	611,890	601,514
投資その他の資産合計	2,084,936	2,329,880
固定資産合計	2,259,029	2,481,864
資産合計	10,064,530	10,270,297
負債の部		
流動負債		
買掛金	753,109	727,893
短期借入金	240,000	240,000
未払法人税等	231,054	242,611
賞与引当金	364,188	420,000
役員賞与引当金	10,200	5,092
受注損失引当金	3,382	4,287
その他	597,483	388,337
流動負債合計	2,199,418	2,028,222
固定負債		
株式報酬引当金	309,136	316,859
資産除去債務	138,558	138,812
その他	203,097	252,778
固定負債合計	650,792	708,450
負債合計	2,850,211	2,736,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,978	768,978
資本剰余金	705,435	704,842
利益剰余金	6,006,514	6,182,426
自己株式	△759,459	△731,977
株主資本合計	6,721,467	6,924,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370,912	526,104
為替換算調整勘定	21,851	41,759
退職給付に係る調整累計額	55,932	41,490
その他の包括利益累計額合計	448,696	609,354
非支配株主持分	44,155	-
純資産合計	7,214,319	7,533,624
負債純資産合計	10,064,530	10,270,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,060,499	7,892,164
売上原価	6,342,228	6,241,203
売上総利益	1,718,270	1,650,961
販売費及び一般管理費		
役員賞与引当金繰入額	5,125	5,092
給料及び手当	249,099	289,518
賞与引当金繰入額	73,865	66,633
退職給付費用	10,001	13,584
株式報酬引当金繰入額	42,278	35,205
その他	590,999	642,467
販売費及び一般管理費合計	971,369	1,052,501
営業利益	746,900	598,459
営業外収益		
受取利息	1,290	1,586
受取配当金	4,449	4,850
消費税差額	4,682	2,221
その他	1,415	1,877
営業外収益合計	11,837	10,535
営業外費用		
支払利息	876	716
為替差損	2,771	9,282
その他	2,696	4,321
営業外費用合計	6,344	14,319
経常利益	752,393	594,675
税金等調整前四半期純利益	752,393	594,675
法人税等	249,083	206,304
四半期純利益	503,309	388,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,635	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	501,674	388,371

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	503,309	388,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71,235	155,192
為替換算調整勘定	4,881	19,908
退職給付に係る調整額	△24,946	△15,190
その他の包括利益合計	51,170	159,910
四半期包括利益	554,480	548,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553,017	548,281
非支配株主に係る四半期包括利益	1,463	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	752,393	594,675
減価償却費	29,352	25,444
引当金の増減額(△は減少)	138,058	85,193
退職給付に係る資産及び負債の増加額(△は減少)	△44,070	△23,794
受取利息及び受取配当金	△5,739	△6,436
支払利息	876	716
売上債権の増減額(△は増加)	36,042	129,322
棚卸資産の増減額(△は増加)	62,543	△5,939
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,359	△25,803
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,153	△74,548
未払金の増減額(△は減少)	△75,328	△89,818
預り金の増減額(△は減少)	△39,454	△48,400
その他	32,971	△38,634
小計	833,131	521,975
利息及び配当金の受取額	8,975	8,155
利息の支払額	△861	△714
法人税等の支払額	△337,710	△201,161
法人税等の還付額	-	1,086
営業活動によるキャッシュ・フロー	503,534	329,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,842	△7,776
投資有価証券の取得による支出	△29,026	△139,041
投資有価証券の売却による収入	8,936	6,396
会員権の取得による支出	△5,000	-
その他	△13,823	4,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,755	△136,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△40,000	-
配当金の支払額	△169,672	△211,170
非支配株主への配当金の支払額	△600	△700
リース債務の返済による支出	△419	△419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210,692	△212,290
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,344	4,200
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	225,431	△14,874
現金及び現金同等物の期首残高	4,447,541	5,015,727
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,672,972	5,000,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。